



地域ブロック情報



日本社会福祉学会には7つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。今号では、関西地域ブロックおよび中国・四国地域ブロックの活動についてご紹介いたします。

関西地域ブロックから

関西地域ブロック担当理事
所 めぐみ(関西大学)

関西地域ブロックは、年次大会・総会(例年2月か3月)の開催、若手研究者・院生情報交換会の開催(年に3回程度)、機関誌『関西社会福祉研究』(年1回)の発行を主な研究活動として活動しています。年に数回開催する理事会と理事会MLにより適宜検討や情報交換をし、会員のみなさまのご協力によりこうした活動等について計画的に進めています。

今年度の主な活動をご紹介します。

○2023年度年次大会・総会

日程:2024年3月2日(土)

テーマ:「幸福としての福祉へ 増進型地域福祉を手掛かりに」

会場:桃山学院大学 和泉キャンパス(3号館・2号館)

午前中には自由研究発表を行います。

詳細は学会HPをご覧ください。

https://www.jssw.jp/wp-content/uploads/kansai_2023_info.pdf

○若手研究者院生情報交換会

各回の企画は、理事会メンバーを含む会員が担っています。このうち年に1回は、若手研究者・院生会員が企画を担当しています。以前は関西ブロック内の大学院に持ち回りのこの1回の企画を担っていただいていたのですが、最近、留学生・国際枠として、(元)留学生の若手研究者の方々による企画を年に1回実施することが定着しています。今年度については全国のCSNETとの共催企画もあります。

第54回は、対面開催で院生を中心に32名のご参加を頂きました。参加者間の交流を進めるための名刺交換会も行われました。

- ・日程:2023年12月9日(土)14:00~17:00
- ・テーマ:社会福祉研究におけるデータ収集と分析のポイント
- ・会場:花園大学 返照館 200 教室

第55回は、日本社会福祉学会研究支援委員会第4回CS-NETサロンとの共催で実施します。終了後には会場近くで懇親会を行い、交流を深めます。

- ・日程:2024年2月11日(日)14:30~17:30
- ・テーマ:初期キャリア研究者にとっての共同研究の意義-可能性、苦悩、戦略-
- ・会場:同志社大学
- ・開催方法:対面及びオンライン(ZOOM)

第56回は、近日中に学会HPと関西地域ブロック会員MLにてご案内いたします。

- ・日程:2024年3月17日(日)14:00~16:30(予定)
- ・テーマ:海外での学びと研究の意義-異なる文化や環境下での研究体験から得られるもの-
- ・会場:大阪公立大学杉本キャンパス 杉本図書館10階 研究者交流室

○機関誌『関西社会福祉研究』

今年度末に第10号を発刊予定です。毎年1回年度末の3月に刊行しています。

なお投稿論文の締め切りは、毎年8月の末日です。関西地域ブロック会員のみなさまのご投稿をお待ちしております。

会員のみなさまとともによりよい活動ができますよう、今後も引き続き会員のみなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

中国・四国地域ブロックから

中国・四国地域ブロック担当理事
山本 浩史(新見公立大学)

中国・四国ブロックの主な活動は、会報および機関誌の発刊、そして、ブロック大会の開催です。会報と機関誌については、本学会ホームページの「地域ブロック情報」にも掲載しております。よろしければご高覧ください。

各ブロックにおいても同様だと思いますが、特に活動の中心となるのが、ブロック大会の開催です。私が担当理事になってからの大会ですが、就任直後は新型コロナウイルス感染症の蔓延で大会開

催が延期となり、翌年、第52回大会・岡山大会（川崎医療福祉大学）が初めてのオンライン方式により開催されました。大会テーマは「社会福祉から、人の『はたらく』を問い直す」であり、基調講演も同じテーマで行われ（講師：川本健太郎氏・神戸学院大学）、シンポジウムは「社会福祉から、人の『はたらく』を問い直すー中四国地方での実践事例からー」と題して行われました。

次の第53回大会・岡山大会（対面・ノートルダム清心女子大学）では「家族の変容とソーシャルワーク」をテーマに基調講演は「家族の変容とソーシャルワーク～市井の人々とともにあり続ける創造的な研究と実践を考える～」（講師：空閑浩人氏・同志社大学）、シンポジウムでは「ヤングケアラーの支援と課題」が取りあげられました。

そして、今年度の第54回大会・島根大会（対面・島根大学）では、豪雨という悪天候のなかでの開催となりましたが「地域における包括的な支援体制づくり」をテーマとし、基調講演では「人口減少時代の地域再生」（講師：田中輝美氏・島根県立大学）と題した講演が行われました。次年度は山口県（山口県立大学）での開催を決定しています。大会プログラムは開催校により立案されますが、このように改めて、大会や基調講演、シンポジウムのテーマを並べてみると、その時のタイムリーなテーマや今、地域で抱えている課題が取りあげられてきたことがわかります。また各大会では自由発表のほか特別分科会を設定しています。たとえば第52回大会から第53回大会では、「福祉人材確保」、そして、第54回大会からは「社会的養護の現状と今後ー家庭養護への移行に伴ってー」といったように、地域での特化した福祉課題や今、求められている研究にも取り組んでいます。

中央と地方といった言い方がいいとは思っていませんが、地方にあっても学术交流を盛んにし、会員相互が研鑽を深める場となるよう、地方の特性を活かしたブロック運営を手掛けていくことが大切であると思っています。